

志賀原子力発電所 1号機 非常用ディーゼル発電機

燃料油配管からの燃料油の漏えいについて

志賀原子力発電所 1号機（第 13 回定期検査中）において、2023 年 8 月 8 日（火）15 時頃、非常用ディーゼル発電機^{※1} B号機の定例試験中に、ディーゼル機関の燃料油配管から燃料油（軽油）が漏えいしていることを確認しました。

当該機関の停止により燃料油の漏えいは停止しました。また、漏えいした燃料油（約 27 リットル）は漏えい拡大防止の区画内に収まっており、適切に回収しました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。（8月9日お知らせ済み）

その後の調査の結果、燃料油配管のガスケット^{※2}に割れがあり、これにより燃料油が漏えいしたことを確認したため、当該ガスケットを取り替え、復旧しました。

ガスケットに割れが発生した原因は、ディーゼル機関の運転による振動等に伴いガスケットの片側の取付ボルトが徐々に緩み、ガスケットにかかる押付けの力に偏りが生じたことに伴い、ガスケットに引張力が加わったことによるものと推定しています。

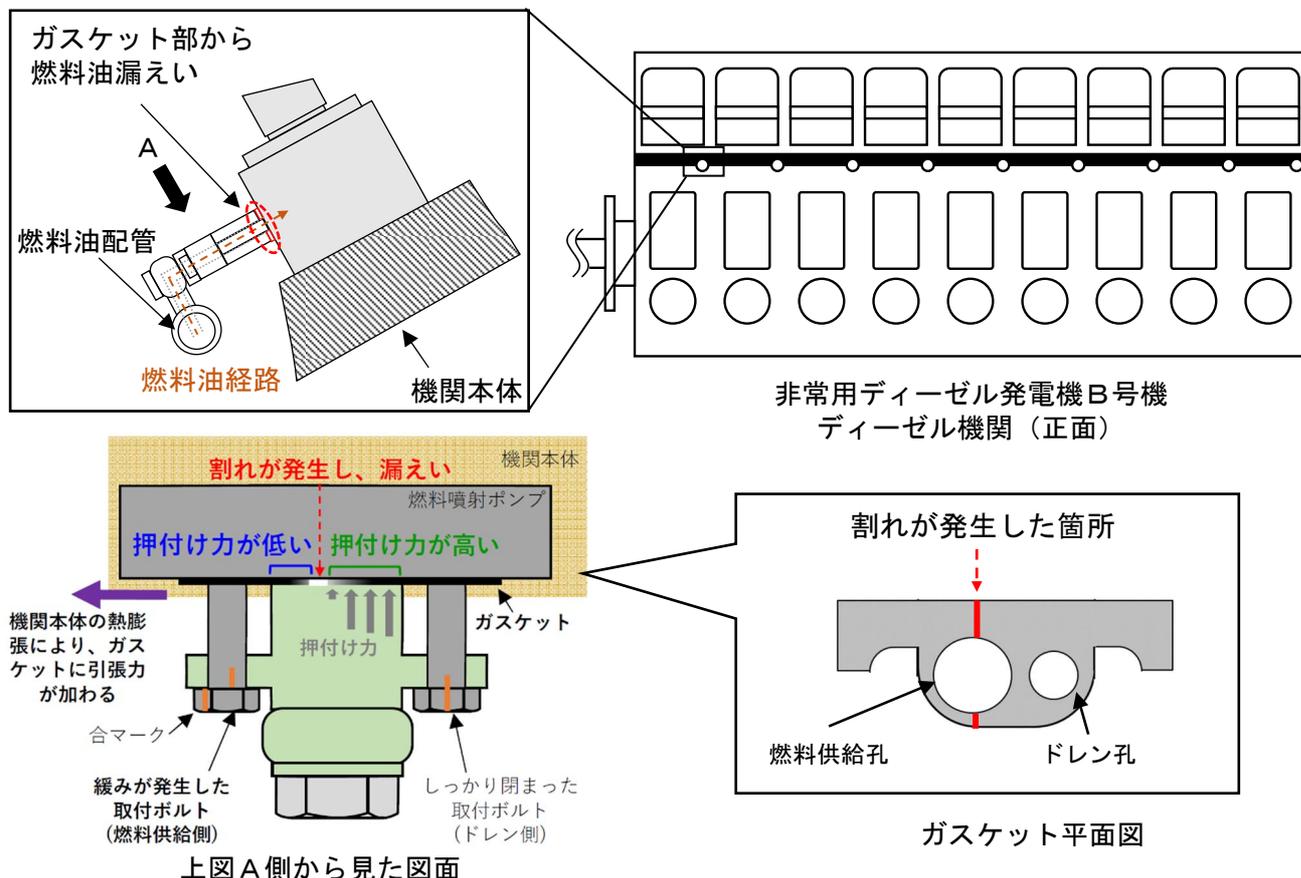
今後は、月 1 回の定例試験前に取付ボルトに緩みがないことを確認するとともに、念のため、ガスケットの交換をより高頻度に行うこととし、再発防止に努めてまいります。

※1 非常用ディーゼル発電機：

発電所の外部電源喪失時に所内への電源を供給するためのディーゼル機関駆動の非常用発電機

※2 ガスケット：

構造に密封性をもたせるため、配管接続部に設置する部材



非常用ディーゼル発電機 燃料油配管概略図